

平成27年度 富士見町当初予算

～富士見町創生予算～

一般会計 68億1,000万円



平成27年度は「第5次総合計画」の初年度にあたり、町民が未来に向かって明るいまちづくりを実感できるように、積極的な予算編成としました。また、国の補正予算に伴う「まち・ひと・しごと創生関連事業」を活用し、一部事業を平成26年度3月補正予算に前倒して予算化しています。

今年の予算は、どのくらいか？

平成27年度当初予算額は、68億1000万円（前年に比べ3億9500万円の増）となり、ここ数年では2番目に大きな予算規模となります。これは、第5次総合計画の中の「安心・安全のまちづくり」のため、道路や橋梁の点検・維持管理を行い、町民の安全を確保するための事業や保健センターの改修工事、また、「教育のまち富士見」として学校施設の安全対策、環境整備を進めるハード事業が大幅に増加したためです。まち・ひと・しごと創生関連事業では、平成26年度補正予算へ3億3697万円を計上しています。これは、国の補正予算に伴うもので、地域の消費喚起や地方のしごとづくりを目的とし、早急に着手

第5次富士見町総合計画

- 目標1 人口の維持
- 目標2 健全財政の維持
- 目標3 健康・福祉のまちづくり
- 目標4 安心安全のまちづくり
- 目標5 農業の復活
- 目標6 観光強化
- 目標7 教育のまち富士見・子育てのまち富士見
- 目標8 安定した行政運営

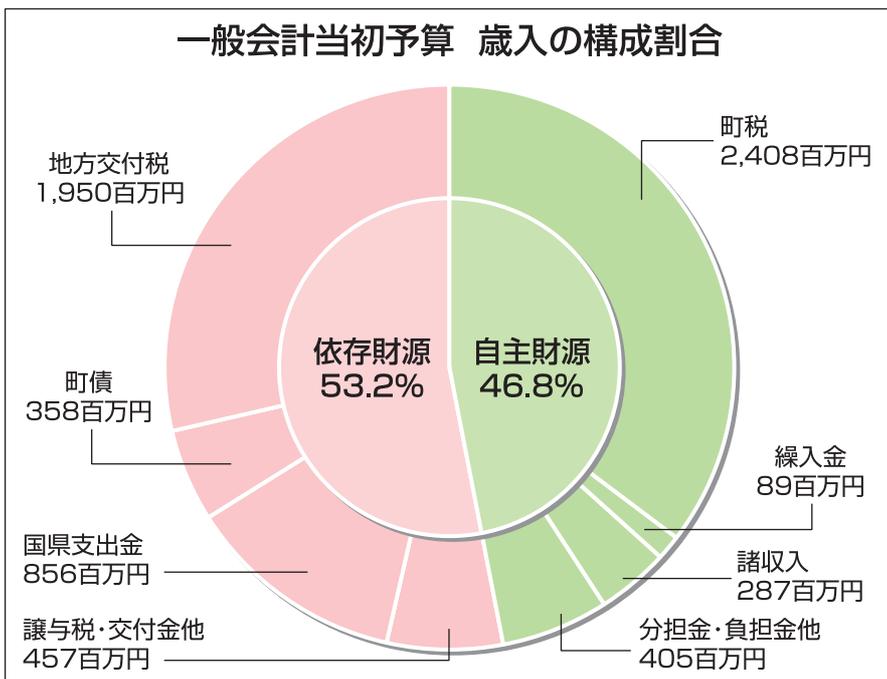
しなければならぬものです。町では、消費喚起のためのプレミアム付商品券事業や多子世帯応援事業、またテレワークタウン実現戦略の一環として、サテライトオフィス整備事業などを実施します。平成27年度は、3月補正予算と一体的に取り組み、第5次総合計画に掲げる目標達成へ向けて、スタートダッシュの年となります。

町の収入は？

町の収入（歳入）のうち、もっとも大きな割合を占めているのが「町税」です。景気の回復基調を背景に、主要企業の業績回復を見込み、前年に比べ2億5977万円増額の24億756万円となります。これは全体の35.4%を占め、

財政の健全化を示す自主財源の割合も、前年と比較して0.8%増の46.8%となります。そのほか、補助事業を積極的に活用することにより特定財源を確保し、国県支出金が9901万円増の8億5621万円となります。また、本年も財源を確保できることから、財政調整基金の取り崩しは行いません。

一般会計当初予算 歳入の構成割合



※国や県からの補助金などを「依存財源」といい、これに対して町税などの町が自ら収入するものを「自主財源」といいますが、収入全体に占める自主財源の割合が高いほど健全な財政といえます。

一般会計当初予算 性質別前年度対比表 (単位：百万円)

区 分	H27	H26	増減
人 件 費	1,227	1,182	45
物 件 費	1,339	1,273	66
維 持 補 修 費	55	45	10
扶 助 費	535	543	△8
補 助 費 等	1,612	1,643	△31
一部事務組合	584	626	△42
そ の 他	1,028	1,017	11
普 通 建 設 事 業 費	682	378	304
補 助 事 業 費	268	57	211
単 独 事 業 費	414	321	93
災 害 復 旧 事 業 費	0	0	0
公 債 費	588	603	△15
積 立 金	37	30	7
貸 付 金	241	241	0
繰 出 金	489	472	17
予 備 費	5	5	0
合 計	6,810	6,415	395

町の支出、性質別経費とは？

町の支出（歳出）を性質に着目して分類したもので、「人件費」や「普通建設事業費」などに分けられます。左の表は、性質別経費を前年度と比較したものです。

平成27年度では、普通建設事業費が3億4000万円の大幅な増額となります。主な要因として、保健センターの改修工事に1億7000万円、小中学校の防災機能強化事業に1億11万円があげられます。

そのほか、数十年前に建設された橋梁の劣化状況を調査し、修繕計画を策定するための経費3200万円や道路長寿命化修繕事業の3103万円など道路ストック高齢化に対する経費が増加しています。物件費が6600万円の増額となりますが、安心して老いを迎えられる仕組みづくりとして、地域安心ネットワーク構築委託に1103万円、社会保障・税番号制度導入に伴うシステム改修費として1366万円、地元の消防団が着用する法被を、活動服へ変更するための経費1327万円などが主な要因です。

平成27年度の主な取り組み

☆地方創生

- ・ サテライトオフィス整備事業…2億6,921万円
武蔵野大学研修センターをリフォームし、IT環境を利用した企業を募集します。
- ・ プレミアム付商品券事業…2,640万円
- ・ 多子世帯子育て応援商品券事業…160万円

☆子育てのまち富士見

- ・ 多子世帯保育料の軽減…2,386万円
同時入所に関わらず、第3子以降の保育料を軽減します（認可外保育園へは補助金を支給します）
- ・ 子育て応援事業…118万円

☆観光強化

- ・ 花と心の里山推進事業…3,196万円
観光宣伝事業や創造の森周辺の整備を行います。
- ・ 入笠山湿原整備・遊歩道整備…650万円
- ・ 八ヶ岳観光圏整備事業…334万円



☆農業の復活

- ・ ワイン特産化事業…104万円
- ・ レタス100ha構想
2020年までに生産面積100haを目指します。
- ・ 農作物有害鳥獣駆除事業…5,538万円
電気柵整備のほか、サル用大型檻を導入します。



※ひと・まち・しごと創生関連事業を含みます。

平成27年度 特別会計・企業会計予算額

会 計 名	H27予算額	前年比較
国民健康保険	18億900万円	1億1,900万円
後期高齢者医療	1億6,740万円	△460万円
観光施設貸付事業	2億6,850万円	△500万円
富士見財産区	1,770万円	150万円

会 計 名	H27予算額	前年比較
本郷・落合・境財産区	3億6,800万円	△900万円
乙事財産区	460万円	△80万円
水道事業	9億4,091万円	△1億274万円
下水道事業	18億6,715万円	△9,132万